雇用支援ネットワーク部会　H30 年度上半期活動報告

【目的】障がい者の企業への就職と職場定着をより一層進めていくための、関係機関による連携協力体制の構築を目指すことを目的とする。

【主な活動】

雇用支援ネットワーク部会（年 3 回）

個別支援委員会
（毎月１回）

- 月 1 回開催。毎回検討テーマに沿った支援課題について協議・検討、意見交換を行っている。
- これまでの検討テーマ：「定着支援」、「離転職支援」、「精神･発達障害支援」、「生活困窮」「権利擁護」「合理的配慮」。また雇用･就労に関わる基本的な知識学習の一環として「ミニテスト」を実施している。
- 検討テーマに沿って圏域の支援者の顔ぶれや役割を確認することができ、チーム支援の礎となっている。また事例を通して課題場面への対処スキルの共有につながっている。

企業開拓委員会
（隔月１回）

- 隔月開催。
- 今年度は【合理的配慮】を重点的テーマとしている。昨年の「合理的配慮学習会」をふまえ、合理的配慮に向けた正しい理解と実践のため、企業への発信方法や部会として継続的な取組みとするため、協議検討を重ねてきている。
- それぞれの立場における【合理的配慮】に向けたこれまでの実践を共有し、理解できた。

広報活動委員会
（３ヶ月１回）

- ローカル紙（2 紙）に月 1 回の記事掲載を 5 月より継続して行っている。
- 委員会は 2 ヶ月に 1 度の開催。
- 記事取材や委員会活動を通じて働く障がい者と雇用事業所の様子が知ることができ、委員自身の学びの場にもなっている。